

平成28年度(2016年度)

管理事業名	吹田市介護老人保健施設事業			総合計画の体系	第3章 健康で安心して暮らせるまちづくり 第2節 高齢者の暮らしを支えるまちづくり
主な歳出予算科目	一般会計	(款) 4	保健衛生費	(項) 1	保健衛生費 (目) 18 介護老人保健施設費
部局名	福祉部	予算執行所属	高齢福祉室		
予算大事業名 施設管理事業	上記以外の歳出予算科目及び予算大事業名				
事業の目的と概要 吹田市介護老人保健施設は、要介護の高齢者等を対象に、家庭復帰ができることを目指して看護・医学的管理のもとにおける介護、機能訓練その他必要な医療並びに日常生活の世話をを行うことを目的とした施設です。同施設は指定管理者制度の利用料金制を導入しているため、施設の管理運営は指定管理者によって行われ、施設の大規模な修繕・工事等は市が実施します。					

I 事業の成果(実績)

指標名	単位	平成26年度	平成27年度	平成28年度	成果指標の定義
施設利用者数	人	44,091	42,559	41,700	年間利用者数
成果の説明	指定管理施設として介護老人保健施設の運営を行うことにより、施設サービス、短期入所、通所リハビリテーション等を提供し、高齢者等の健康保持及び福祉の増進につながっています。平成28年度において、前年比で長期入所者が延べ302人の減、短期入所者及び通所リハビリテーションの利用者が延べ638人減、また、平成28年度より開始した訪問リハビリテーション・介護予防訪問リハビリテーションの利用者が延べ81人でした。				

II 財務情報

◆行政コスト計算書

(単位:千円)

勘定科目	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
地方税	-	-	-	-
分担金及び負担金	-	-	-	-
使用料及び手数料	-	-	-	-
国庫支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
府支出金(経常費用充当)	-	-	-	-
財産収入	-	-	-	-
寄附金	70	160	150	△10
他会計からの繰入金	-	-	-	-
受取利息及び配当金	-	-	-	-
その他	219	224	202	△22
経常収入 小計(a)	289	384	352	△32
給与関係費	7,368	7,273	6,129	△1,145
物件費	522	500	3,200	2,700
維持補修費	71,594	3,788	1,909	△1,879
社会保障扶助費	-	-	-	-
負担金・補助金・交付金等	-	-	-	-
特別会計への繰出金	-	-	-	-
減価償却費	60,316	61,082	63,219	2,137
徴収不能引当金繰入額	-	-	-	-
賞与引当金繰入額	592	608	494	△113
退職手当引当金繰入額	440	468	△1,030	△1,498
支払利息	27,253	23,784	20,095	△3,689
その他	-	-	-	-
経常費用 小計(b)	168,085	97,503	94,016	△3,486
経常収支差額(a)-(b)=(c)	△167,796	△97,119	△93,665	3,454
特別収入	-	-	-	-
その他	3,400	3,400	3,440	40
特別収入 小計(d)	3,400	3,400	3,440	40
特別費用	-	-	-	-
固定資産売却損	3,232	-	0	0
その他	-	-	-	-
特別費用 小計(e)	3,232	-	0	0
特別収支差額(d)-(e)=(f)	168	3,400	3,440	40
一般財源調整額(g)	-	-	-	-
当期収支差額(c)+(f)+(g)	△167,628	△93,719	△90,225	3,494
一般財源充当額	166,818	113,681	101,354	△12,327
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
再計	△810	19,963	11,129	△8,833

行政コスト計算書の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	決算額の主な内容
維持補修費	玄関前歩道改修工事等 1,909千円 (平成27年度 放送設備等維持補修費等 3,788千円)
減価償却費	吹田市介護老人保健施設建設の 減価償却 61,035千円 重要物品の減価償却 2,184千円
支払利息	施設建設時の償還金利子 20,095千円

◆キャッシュ・フロー収支差額集計表 (単位:千円)

区分	平成26年度	平成27年度 A	平成28年度 B	差額 B-A
行政サービス活動収入	289	384	352	△32
行政サービス活動支出	108,014	36,745	32,466	△4,279
行政サービス活動収支差額	△107,725	△36,361	△32,114	4,247
投資活動収入	-	-	-	-
投資活動支出	3,707	18,465	6,696	△11,769
投資活動収支差額	△3,707	△18,465	△6,696	11,769
財務活動収入	-	-	-	-
財務活動支出	55,386	58,855	62,544	3,689
財務活動収支差額	△55,386	△58,855	△62,544	△3,689
収支差額 合計	△166,818	△113,681	△101,354	12,327
一般財源充当額	166,818	113,681	101,354	△12,327
一般会計からの繰入金	-	-	-	-
一般会計への繰出金	-	-	-	-
前年度からの繰越金	-	-	-	-

キャッシュ・フロー収支差額集計表の特徴的な事項

決算額の主な内容	(行政サービス活動収入) 寄附金160千円、行政財産目的外使用料(自動販売機)202千円 (行政サービス活動支出) 玄関前歩道改修工事等 1,909千円、ほか給与関係費6,129千円等
----------	---

◆単位あたりのコスト分析(「経常費用 小計(b)」を「実績」で割って円単位で算出しています。)

指標名	年度	実績	単位あたりコスト	分析内容(前年度との増減理由)
利用者1人当たりのコスト	平成26年度	44,091人	3,812円	利用者1人あたり2,254円のコストがかかっています。
	平成27年度	42,559人	2,291円	
	平成28年度	41,700人	2,254円	
	平成26年度		円	
	平成27年度		円	
	平成28年度		円	

◆貸借対照表

(単位:千円)

勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A	勘定科目	平成27年度末 A	平成28年度末 B	差額 B-A
現金預金	-	-	-	流動負債	63,151	66,960	3,809
未収金	-	-	-	地方債	62,544	66,466	3,922
流動資産	-	-	-	短期借入金	-	-	-
財政調整基金	-	-	-	賞与引当金	608	494	△113
短期貸付金	-	-	-	未払金	-	-	-
徴収不能引当金	-	-	-	リース債務	-	-	-
その他流動資産	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
事業用資産	-	-	-	固定負債	292,492	224,470	△68,021
有形固定資産	4,311,132	4,250,097	△61,035	地方債	285,345	218,879	△66,466
土地	2,748,503	2,748,503	-	長期借入金	-	-	-
建物・工作物	1,562,628	1,501,594	△61,035	退職手当引当金	7,146	5,591	△1,555
リース資産	-	-	-	リース債務	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	その他固定負債	-	-	-
無形固定資産	-	-	-	負債の部合計	355,643	291,431	△64,212
インフラ資産	-	-	-	純資産	3,975,487	3,986,616	11,129
有形固定資産	-	-	-	重要物品	-	-	-
土地	-	-	-	図書館資料	-	-	-
建物・工作物	-	-	-	投資その他の資産	-	-	-
建設仮勘定	-	-	-	出資金	-	-	-
重要物品	19,998	27,950	7,952	長期貸付金	-	-	-
図書館資料	-	-	-	基金	-	-	-
投資その他の資産	-	-	-	徴収不能引当金	-	-	-
出資金	-	-	-	その他債権	-	-	-
長期貸付金	-	-	-	資産の部合計	4,331,130	4,278,047	△53,083
基金	-	-	-				
徴収不能引当金	-	-	-				
その他債権	-	-	-				
負債及び純資産の部合計	4,331,130	4,278,047	△53,083				

Ⅲ 財務構造分析

▽人にかかるコストの内訳

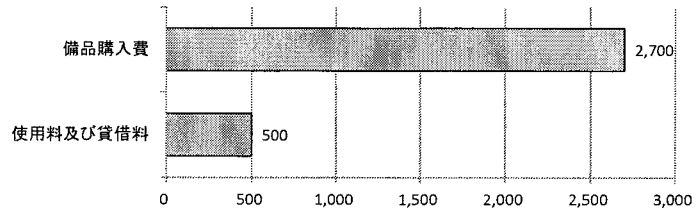
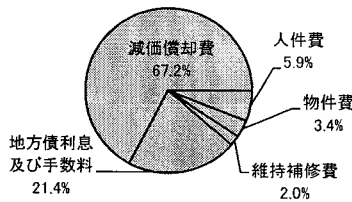
事業従事人数	常勤・再任用		非常勤	臨時雇用員 年間従事延日数	審議会委員等 実人数	合計(千円)
	月平均	人				
事業従事人数	0.8	人				5,593
給与関係費等	5,593	千円				5,593
内、時間外勤務手当	419	千円				

貸借対照表の主な増減理由(特徴的な事項)

勘定科目	増減理由
建物・工作物	吹田市介護老人保健施設(建物)減価償却により61,035千円の減
重要物品	特殊浴槽 4,752千円と空調設備 1,944千円等の増

▽経常費用の構成割合

物件費の内訳(単位:千円)



▽施設の概況

施設の名称	吹田市介護老人保健施設
取得年月日	平成4年6月
建物・工作物の取得価額	2,998,094 千円
建物・工作物の減価償却累計額	1,496,500 千円
利用料金収入	- 千円

▽分析指標

(単位:%)

分析指標	年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	差 B-A
			A	B	
施設維持補修費比率		2.4	0.1	0.1	0.0
施設老朽化比率		46.2	47.9	49.9	2.0
受益者負担比率		-	-	-	-
徴収不能引当率		-	-	-	-
一般財源充当比率		99.8	99.7	99.7	0.0
経常費用対公共資産比率		5.6	3.3	3.1	△0.2

【参考:市保有施設全体の老朽化比率は53.9%】

Ⅳ 総括

▽分析結果の説明

経常費用の主なものにつきましては、減価償却費63,219千円(67.2%)、支払利息20,095千円(21.4%)、人件費5,593千円(5.9%)、物件費3,200千円(3.4%)、維持補修費1,909千円(2.0%)となっています。物件費の内訳といたしましては、電動ベッド購入の2,700千円、連絡橋上部等の土地家屋借上料の500千円です。
減価償却により資産(建物)が減少しています。老朽化比率は前年度より2.0ポイント進行し、49.9%となりました。市保有施設全体の老朽化比率53.9%と比較しましたら4.0ポイント低い施設です。
経常収入の内訳につきましては、寄附金が150千円、その他の収入として自動販売機設置に係る行政財産目的外使用料202千円です。

▽分析結果を踏まえた事業の課題

施設は平成4年(1992年)に建設され、25年が経過しています。資産老朽化が進んでいます。平成28年度は維持補修費及び設備・備品等更新にかかる費用が1,909千円(2.0%)となりましたが、今後は大規模改修工事を計画する中で、厳しい財政状況が続くことから、その財源を確保することが困難な状況となっています。維持補修にかかる経費をできるだけ、平準化するためには、維持補修計画を立て、計画的な予算執行が必要と考えています。